

「ごちゃまぜ」 あらゆる障害のない社会へ

GOCHAMAZE
times2021
SPRING
vol. 15

TAKE FREE

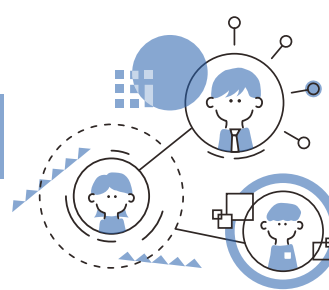
違和感から
生まれるごちゃまぜ

これって何かフン!!



ソーシャルスクエアってこんなところ!

1 社会とツナガル



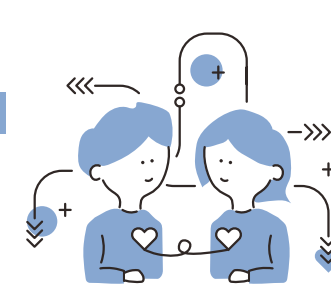
SOCIALSQUARE は英語で「社会とつながる広場」という意味。社会との接点をつくりたい方には居場所として、関わりを少しずつ増やしていきたい方には地域社会との交流の場として、あなたの一步を応援します。

2 学びにツナガル



ずっと興味があった資格取得を目指すもよし、SOCIALSQUARE の提供するプログラムに参加するもよし。覚えたいことや感じたことを他者に共有できる環境があるからこそ、これまでできなかった気づきや学びがあります。

3 心がツナガル



同じ場所・同じ時間を過ごしたり、自分の困りごとを話したり。少しずつお互いのことを知り合う中で、きっとあなたにとって心地よい関係性が生まれるはず。なんでも相談できる場所へ。

SOCIALSQUARE
メンバー募集中!

講師や寄付も募集しています!

詳しくは上記QRコードより
WEB をご参照ください!!

いわき店

福島県いわき市

障害福祉サービス/
就労移行支援・就労定着支援・
自立訓練（生活訓練）

DATE

住所：福島県いわき市内郷内町水之
出17 ソーシャルスクエアビル 1F
Tel: 080-3525-9426
Mail: ss_iwaki@sdws.jp

いわきスポーツ店

福島県いわき市

障害福祉サービス/
就労移行支援・就労定着支援・
自立訓練（生活訓練）

DATE

住所：福島県いわき市平上荒川字桜
町1-1 あらたな内
Tel: 070-3349-6785
Mail: ss_sports_iwaki@sdws.jp

西宮店

兵庫県西宮市

障害福祉サービス/
就労移行支援・就労定着支援・
自立訓練（生活訓練）

DATE

住所：兵庫県西宮市中前田町1-27
ラビットビル 1F・3F
Tel: 090-8377-4839
Mail: ss_nishinomiya@sdws.jp

熊本店

熊本県熊本市

障害福祉サービス/
就労移行支援・就労定着支援・
自立訓練（生活訓練）・
相談支援（計画相談）

DATE

住所：熊本県熊本市中央区水前寺公
園3-4 土山天祐堂ビル 2F
Tel: 070-7587-9202
Mail: ss_kumamoto@sdws.jp



あなたの「にくさ」が、
ごちゃまぜの種子になる。

自分らしくありたい。
誰を好きになろうと、どんな服を着ようと、
子どもがしようといまいと、障害があろうとなかろうと。
国籍や年齢、宗教や職業に関係なく、自分らしく。

けれど、そんな些細で当たり前の願いさえ、
周囲から求められる役割や常識、偏見に阻まれ、
個人を成り立たせる「自分らしさ」は、
社会に出た途端、「生きにくさ」へと姿を変えてしまう。

生きにくさは語りにくく、見えにくい。
必要なのは、いたずらに「らしさ」を称揚することではなく、
ひとりひとりにある「にくさ」を持ち寄り、
少しずつ、その「にくさ」を言葉にできる場であるはずだ。

あなたが、あなたらしさのまま光ることができる社会は、
まず、あなたの「にくさ」を知ることから作られる。
ごちゃまぜタイムズは、あなたの「にくさ」を持ち寄る場。
そこにはきっと、ごちゃまぜの社会を作る種が見つかる。



表紙デザイン | たかの まさみ

佐賀県生まれ／茨城県在住／〈ちいさの学校〉イラストレーター。
幼児向け、介護系のイラスト多数。
見た方がほっこりして貰えるイラストを思い描いています。
愛猫：さば吉 好物：おはぎ
絵本：うらら川（発行：社会福祉法人 北養会）絵担当

最新記事は **WEB** の **GOCHAMAZETimes** で！



<https://gochamaze.jp>

今回の特集やインタビューの全文を公開中！過去のタブロイドのアーカイブはもちろん、ウェブ限定のインタビューや対談など、ここでしか読めない記事も豊富にあります。ぜひ一度ウェブ版もご覧になってみてください。

WHO WE ARE



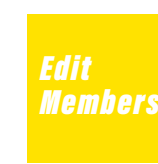
広報 PR
TAIKAN FUJIKI



企画
RYOHEI OMORI



編集
KAORI WATANABE



デザイン
NAOKO ETOU



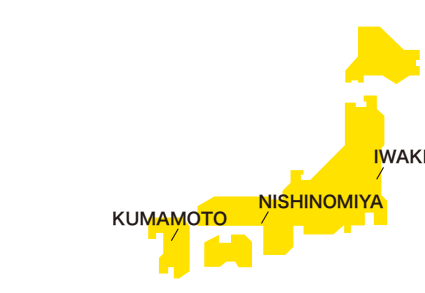
発行人
TSUYOSHI KITAYAMA



編集
RIKEN KOMATSU



企画
MICHIFUMI OKUTA



NPO法人ソーシャルデザインワークス

私たちは「すべての仲間の幸せを追求すると共に諦めない社会を創る」を理念に掲げているNPO法人です。2019年現在、福島県いわき市、兵庫県西宮市、熊本県熊本市で障害福祉サービス事業所を展開しています。障害福祉サービス事業を軸とし、障害の有無や性別、国籍、年齢など一切関係なく、様々な属性の方々が自然に交流ができる機会を、ごちゃまぜイベントと題し企画運営しています。また、ごちゃまぜの発信・広報を行っています。



詳しくは web をご覧ください。

<https://sdws.jp>

次ページではいろんな疑問を
ナイスなアイディアで
解決した事例を紹介！

今回の特集では、皆さんとモヤモヤや違和感をシェアして終わりではなく、様々なモヤモヤ発信＆解決方法もご紹介していきたいと思えます。モヤモヤを生み出している「社会」とどうお付き合いしていくのかヒントになるかもしれません。

また、コロナウィルスが騒がれる前からも「サステイナブル」「LGBT」といった新しい言葉を耳にする機会が増えていました。時代の変化を感じる今だからこそ、様々な価値観に触れ、モヤモヤや違和感を感じることが多いのかもしれない。モヤモヤがストレスや閉塞感を生み出していく一方で、私たちが感じているようなモヤモヤがきっかけで新しい取り組みやモノが生まれ、より生きやすい社会になることもあります。そういった意味では、今回の表紙では、どのようにモヤモヤは「ごちゃまぜ」の種、つまり様々な価値観を共有し解決していくきっかけになるのではないのでしょうか。

特に最近では、インターネット上でたくさんの情報を手に入れることができ、多くの人の意見や想いに触れる機会がより増えているのではないだろうか。自分と同じ価値観、意見に触れた時はホッとしたり、安心したりします。逆に自分とは違う価値観や意見に触れた時はモヤモヤすることもあると思います。ここ1、2年では、新型コロナウイルスの影響でリモートワークなどの新しい働き方や「オンラインイベント」「おうち時間の増加」など新しい生活様式に変わるなど、数年前には想定できなかった変化が起きている。

あなたは、「男なら我慢しろ」「女は女らしくしなさい」などと言ったこと、または言われたことはありますか？そもそもなぜ男性だけが我慢しなければいけないのか。なぜ女性は女らしくしなければいけないのか。など他者の価値観に対して、「これって変じゃない？」と違和感を抱いたことがありますか？

ソーシャルスクエアでもモヤモヤ対策

障害者の施設が
ダサイのが…

モヤモヤ!

ソーシャルスクエアは全店舗オシャレに気を使った内装！カフェやコワーキングスペースをイメージした店内で、利用者の皆さんが落ち着いて活動でき、来くなる場所としてファシリティにこだわった作りに！支援員も頑張っておしゃれに気を使っています（笑）

全拠点共通



いわき店



男らしさ・女らしさの
概念に…

モヤモヤ!

LGBT フレンドリーな内容のカリキュラムを提供！女性・男性だからと分けて、調理実習もお掃除も、工具を使うようなものづくりのカリキュラムもみんなで行います。また、LGBT の方々をゲストに利用者さんの多様性へ理解を広げるような内容も実施しています。

言葉の意味にも…

モヤモヤ!

さまざまな場所で見聞きするようになった「相手を批判・否定しない」という言葉。西宮店でもよく使う表現なのですが、メンバーさんから「批判せずに議論なんてできません!」と言われたことが…。その後適切な表現を話し合い、「自分の好き嫌いを押し付けない」ということだよね!となりました。

西宮店



スポーツ店



頭の中だけで考えていると
考えがまとまらず…

モヤモヤ!

統合失調症があり、自分の考えがうまくまとめられない利用者さんに対して、思考の整理を補助する為の「振り返りシート」を作成しました。項目に沿って記入することで考えがまとまりやすく、面談などでスムーズに相談がすることができました。

福祉施設への
アクセスが悪いことに…

モヤモヤ!

熊本店は市電（路面電車）やバスの本数が多い通り沿いに開設している為、メンバーさんが自力で通いやすくなっています。一般的に福祉施設は街中から離れているイメージが強く、実際に施設の送迎サービスや家族の協力が無いと通えないケースもあります。自分のペースで通いたくても通所手段の問題で通えないのは残念ですね。

熊本店



社会福祉法人 佛子園

慣習



なんで高齢者施設とか医療施設とか子供の施設とかごみんなバラバラに作られるのー
みんな一緒にすごせー

B's 行善寺は、タウン型の生涯活躍のまちのモデル事業として、障がいを持った方々も健常な地域住民の方々もだれもが等しく利用できる。福祉・医療施設としての高齢者デイサービス、障がい者生活介護や保育園、内科クリニックに加え、交流施設として天然温泉、食事処、ウェルネス（健康増進施設）、温水プール、フラワーショップなどが併設され、様々な人びとが「ごちゃまぜ」に集まり、交流できる場所となっている。また、施設全体が障がい者の就労支援の場ともなっている。

モヤモヤを色々なアイディアで解決した事例があるぜ!

性
にまつわる
ことって
何で誰も教えて
くれないの？



QRコードは
こちら→

セイシルは中学生・高校生が抱える性のモヤモヤにこたえる web メディア。中高生は、子どもから大人への移行期。性についての悩み・関心がもっとも高まるその時期に、男女のカラダの仕組みや性行為、性暴力、セクシュアリティなど、学校では教えてくれない性に関する様々な知識を身につけるための、情報発信を行います。また、周囲の大人には話せないような性の悩み相談も受け付け。自分の性と向き合い自信を持って生きていけるよう、専門的な知識をもった大人たちが性の悩みに寄り添います。



Braille Neue(ブレイルノイエ) 障害

多様性とか
ダイバーシティって
言葉をよく聞くと、
障がい者・健常者が
交わる機会少ないんか？

デザイナーの高橋鴻介さんが発明した「目でも読める点字」。渋谷区役所の案内板や階段の手すりなどにも採用されている。墨字と点字の両方が一緒に読めることで、点字や障害についてよく知らない人たちが、興味を抱ききっかけになるのではないだろうか。日本ではまだまだ「障害者」と「健常者」が分けられることが多いが、互いの文化を共有していくことで、本当の意味で多様性を実感できるきっかけになっていくのかもしれない。

ゲームなんて
時間の無駄！
こぼれちゃう？



ゲーム開発会社でもあるカヤックさんのゲームにハマった経験と情熱を評価する「いちゲー採用」。「ゲームばかりに時間を費やしてしまった…」という学生向けに PlayStation® とコラボレーションで実施された就活キャンペーン！カヤック社は毎年ユニークな採用活動を行っており、いろいろなモヤモヤに対してユーモアで応えている企業さんなのかもしれませんね。

座って
大人の話を聞く
ことだけが
学びなの？

VIVITA 株式会社

教育



VIVITA は子どもたちや大人の好奇心やモヤモヤを、遊びや共創活動を通してかたちにしていくクリエイティブコミュニティ。最新の設備と素材が揃う施設「VIVISTOP」の運営や、企業・団体と協働し、身近に潜む「問い」を解決する活動をおこなっています。モヤモヤと向き合い、かたちにすることは難しい。VIVITA には「楽だけどつまらない」ではなく「大変だけ楽しい」道のりを選ぶ子どもたちと、クリエイターやエンジニア、起業家、地域の大学生など、さまざまなスキル・経験を持った大人が集まり、活動しています。

淀川テクニック(柴田英昭)

環境

<https://yukari-art.jp/artists/yodogawa-technique/>



地球資源には
限界があるのに、
ゴミ問題に興味関心
がない人が多い
のはなぜ？

ゴミや漂流物を使った独創的なスタイルで造形物を制作している。しかし、この活動は環境問題の為にだけに取り組んでいるわけではない。淀川テクニックの柴田氏は「環境問題を解決するためにゴミで作品を作り始めた訳ではない」と発信している。彼は「自分のアイディアとセンスで世の中を面白くする」という動機で数々の作品を手がけており、その手段としてゴミを使ったアプローチを行っている。だからこそ彼の活動や作品から受ける環境問題への興味は押し付けがまかないのかもしれない。

今回、GOCHAMAZE times編集部では、日頃感じる「これって変じゃない?」と感じるごちゃまぜ、つまり多様性みたいなものの鍵があるんじゃないかということ、福島に2カ所、兵庫、熊本など全国に4拠点ある障害福祉事業所ソーシャルスクエアで、利用者さんに普段感じているモヤモヤ（違和感）についてアンケートをとってみました。

アンケートを取ってみると実にユニークな視点の回答や、障がい当事者だからこそ感じるモヤモヤまで様々な回答を頂くことができました。

普段から接している私達から見ても、なるほどなあと感じるものでもした。誰も、日々生きていく中でモヤモヤを感じる場面って多いですね。

何でモヤモヤって生まれるの？

ダーの問題がある方がいるんだ、という認識がなかったことで起きてしまう問題だと思います。知っていれば、トイレを設置する時に多目的な「だれてもトイレ」を併設するなどして、誰もが使いやすい環境になると思います。

誰でもわからないこと、知らないことに対しては対応できないし、不安になったり、ネガティブな考えになったりしますよね。

そこで私達の法人では、事業所での活動と並行して「ごちゃまぜまちづくり」と題して、地域の人と障害福祉事業所を利用する利用者さんが接する機会を作り、交流を生むことで地域の人達に障がいに対する理解を深めてもらい、利用者さん達が地域の中でより生きやすくなってほしいと考えています。

これは、障害の有無、国籍、年齢、性別、文化など異なる人が存在することを楽しんでもらい、それぞれの地域で大事なことを、その地域の人達と共創していきたいな、という思いから始まりました。これまでに様々なイベントなどを通して「健常者」と「障がい者」の垣根を少しは緩めることができているのかなと思っています。

いろんなモヤモヤがごちゃまぜの種になる

ただ、世の中には「障がい者」だけではなく、他にも様々なモヤモヤがあります。日本で暮らす外国人や、ジェンダーの問題を抱えた方、ジェンダーギャップの問題、環境問題、経済格差、身近なところから、大きい問題まで、ほんとうに様々なモヤモヤがあると思います。こういう部分を考えると、ごちゃまぜな世の中ってほんとうに難しいなと思っています。

ここで大事になってくるのが「対話」なんだと思いますが、自分のモヤモ

ヤをはっきり相手に伝えたり、世の中に発信するのって、なかなか難しいですね。

そこで、今回の特集では、様々な工夫でモヤモヤを解決した例として、各ソーシャルスクエア事業所での取り組みや、全国の団体のナイスな取り組みを紹介させてもらっています。非常にユニークでクリエイティブな取り組みが多くて、私達もすごく勉強になりました。それぞれの取り組みを通して、こういう生きづらさもあるんだな、ということを知ることができました。こんなふうに「誰かが感じたモヤモヤ」というのは、社会を良くしていく為の「ごちゃまぜの種」と私達は思います。

対話を「つなげよう」

て、お互いに知らなかった部分が見えてきて、歩み寄ることができれば、誰もが暮らしやすい地域に変わっていくのかなと思います。

このGOCHAMAZE timesも今回でvol.15となりましたが、今後もしごちゃまぜの「種まき」ができればいいなと思っています。まだまだ世の中には色々なモヤモヤ、生きにくいさがあり、誰もが生きやすい世の中は遠いですが、様々な悩みに寄り添い、ごちゃまぜな世界に繋がる対話の種を蒔いていく。それによって誰かの対話のきっかけになり、その人の生きづらさが和らいだり、前に踏み出す後押しができれば嬉しいですね。

最終的にはごちゃまぜなんて言葉がいらないくらい、ごちゃまぜで多様性のある社会が当たり前になっていたらいいなと思います。

社会貢献の種をまこう！ いつか花開くその時に

インタビュー「ごちゃまぜな人」第15回

柴田 賢さん

SOCIAL SQUARE西宮店から徒歩5分。
山手幹線という大通りを歩いていくと
「お洒落な建物だなあ。え？これが車のディーラーなの？」
と疑ってしまうような外観の建物が現れる。
ネッツテラス夙川だ。
ネッツテラス夙川の店長柴田さんはごちゃまぜの仕掛け人。
店舗の2階にはカフェスペースがあり、様々なイベントが開かれていたり、
普段から地域の人たちの憩いの場となっている。



自動車販売店ネッツテラス夙川では、
障害のある方の受け入れも積極的です。
実習を受け入れていたり、福祉事業所
で作っているクッキーをお客様のお誕
生日に渡すこともあります。地域貢献
を考えていくうえでは社会的な生きづ
らさを抱えていらっしゃる方や福祉の
方々と何か出来ないかとは考えていま
したが、最初はどうしていいかわから
ないまま、最初はうまくいっていただけ
の正直なやりませんでした。

きっかけは福祉関係者と知り合ったこ
とでした。その方を通じて、いろんな
福祉事業所を紹介して頂き、空き缶の
回収してもらったり、店舗の雑草処
理を依頼したりしていました。
人と人が繋がっていくことで、こうし
た新たな繋がりも出来て、様々なご助
言や社会貢献をさせてもらえる機会を
頂いていて、嬉しく思っています。最
初は障害のない健常のお客様を相手に
することが多いので、困っている人た
ちのために何が出来たのか？と想像す
るのは難しかったのですが、福祉事業
所の理事長さんとお話させて頂く機会
があり、その理事長さんから「何かをし
てくれるよりも仕事をもらえる方があ
りがたいんです」と伺いました。例え
ばクッキーを店舗で売ること、クッ
キーを作る仕事が出来ると、空き缶を捨
てずに残しておくことで空き缶を回収
する仕事が出来ると。そうやって仕事
の種を作っていくいいんだと。ぼくの
中ではちよっと勘違いしていたことが
あって、「あ、そういうことで貢献にな

るんだな」と思いました。その理事長
さんにはすごく感謝しています。今で
も実習で障害のある方に来ていただい
たりしていますが、社会復帰するため
のひとつの手段としてネッツテラス夙
川を使って頂けたら嬉しい。



SOCIAL SQUAREさんはご
ちゃまぜの社会を目指しているという
でしたが、正直なところ我々からする
と福祉事業所が何をされているのか全
くわからない。こうやってお付き合い
させて頂くことで理解出来るように
なってきましたが、もう少しオープン
にして頂いた方がわかりやすいと思
います。SOCIAL SQUAREさん
も2階のカフェに来てくれた際にお声
がけしてくださったから今に至って
いますよね。あの時のお声がけがなく
て、今までの関係性を築いてこれなけ
れば、こうして取材は受けていないか
もしれません。ぼくとしてもどこまで
踏み込んでいいのかわからないので、



柴田 賢 しばた けん

1970年大阪万博『太陽の塔』と
同級生です。高校時代に野球部
に入り投手として今も草野球を
続けております。夢は還暦野球
で投手をルーキーとして出る事
です。趣味は、野球・自転車・
スキーで昨年ソロキャンプデ
ビューしたジッとしていられな
い性格です！

こういうところに困っているんですと
言ってもらえたら、「こういうことなら
協力できますよ」と提案もしていける
のではないかと。

会社としては、「トヨタと言ったらネッ
ツトヨタ神戸やね」とイコールになっ
てもらえることが一番だと思います。
よくスタッフには町一番の車屋さんにな
ろうと言っているんですが、そのた
めには車のことだけではなく、様々な
お声がけをしてもらえる店舗である必
要があります。お客様のために地域
のために何が出来たか、何をすべきか
を常に考えていくことが、結果的に町
一番の車屋さんになっていくのだと思
います。また、今後も様々な新しい展
開を考えていけたらと思っています。

いわき

同期鼎談



支援員 三戸花菜子×
鈴木 真奈×
佐藤 勇
福島県いわき市内郷内町水之出17
ソーシャルスクエアビル 1F
080-3525-9426
ss.iwaki@sdws.jp

いわきスポーツ

だからへの支援で
自分も変化する



スクエーマネージャー
佐々木 俊輔
福島県いわき市平上荒川字桜町1-1
あらたな内
070-3349-6785
ss.sports_iwaki@sdws.jp

西宮

福祉とはメガネである



サービス管理責任者
中島 大樹
兵庫県西宮市中前田町1-27
ラビットビル 1F・3F
090-8377-4839
ss.nishinomiya@sdws.jp

熊本

クルー対談



支援員 田中 佳香×
八木 涼平×
熊本県熊本市中央区水前寺公園3-4
土山天祐堂ビル 2F
070-7587-9202
ss.kumamoto@sdws.jp

キャリアも年齢も異なるクルーの同期3
人。どのような想いを抱いて働いている
か語ってもらいました。
佐…3人ともいわき市出身ですけど、お
二人はUターン入社。どのような思いで
働いていますか？
鈴…定時制高校に通いながら働いてい
た時、自分の人生を諦めなくていい方法を
模索していました。そんな存在になりた
いなと思って。
三…私はいわきで過ごした子ども時代は
大変だったことが多くて、そういう環境
を変えていきたいなって戻ってきました。
鈴…ソーシャルデザインワークスに入っ
て思うのは、好きなことにチャレンジし
てる人が多いということですね。
三…佐藤さんはいわきで高齢者の方向け
の終活セミナーをしていたんですね。
佐…終活は「これまでの人生を振り返っ
てみて、これからの人生をどう生きるか
を考えることが目的なんですけれど、そ
の重要性を伝えられる人になっていき
たいなと思っています。」



続きはコチラ
スクエア
マガジンで

私自身人と話したり、考えをきちんと伝
えるということに苦手意識があったん
です。
スクエアの中では選択肢が広がるよう
なコミュニケーションを心がけていて、私
ならこう考えるとか、こういう考え方も
ありじゃないかと、考えの幅が広がるよ
うな提案をしたいと思っています。もち
ろん決めるのはメンバーさんですが、選
択肢は周囲が増やすことができる。それ
がいま心にかけている支援ですね。そう
いうコミュニケーションを心がけてきてい
つの間にコミュニケーションの苦手意
識がなくなりました。
支援を続けていると、外出できなかった
人が毎日スクエアに来てくれるようにな
った、なんてことがよくあります。多
くの皆さんにとっては簡単なことかもし
れませんが、ここに通所するみなさんに
とっては簡単ではない。変化を見てすご
いなと思うし、私も頑張らないとって
感じます。



続きはコチラ
スクエア
マガジンで

前職では、なかなか自分のアイデアが通
らないというところがあり関心としてい
ました。それで、自分がやっていきたい
ことを実現できるところはどこだろうと
探していたところでソーシャルデザイン
ワークスに入社しました。
高校生の時にクラスメートが摂食障害で
亡くなったんです。それで福祉に興味を
持って、誰かを支援できる仕事があるの
かと気づかされ今に至ります。福祉法人
はどれも「利用者のために」と理念に掲
げるけれど、そこだけだとスタッフがい
がしるにされてしまう。利用者を守り
たいと思えばこそ、スタッフの幸せを追
求が必要、と考えるようになりました。
福祉ってメガネになればいいと思ってい
るんです。メガネって、今では当たり前
のものですけど、近視や乱視もまた障害
のほうです。技術やサービスが向上して
メガネみたいに、いいものができる。そ
の先に、福祉を意識しなくてもいい社会
がある気がします。



続きはコチラ
スクエア
マガジンで

入社のきっかけやどのような想いを抱
いて働いているか語ってもらいました。
八…もともとは農業土木関連の会社で働
いていたんですけど、ネットで面白いと
ころという軸で検索して、たまたまソ
ーシャルデザインワークスを見つけた
感じがすかね。
田…私は就労継続支援B型やA型など
15、16年くらいは働いていました。自
分も当時の仕事を続けていくか悩んで
いる状態で、知り合いを通じて知った
のがきっかけですね。
八…「障害福祉施設」といってもサー
ビス内容によって全然違うみたいで
すね。
田…かつて障害福祉はサービスではな
く役所が指定した施設に入る措置と
呼ばれるものでした。そのイメージが
強くて、スクエアの見学をした時に「
熊本でもこういう福祉もあるんだ」と
衝撃を受けました。
八…僕は福祉の世界を全然知らなかつ
たので、他の福祉施設を見学させて
頂いて「福祉」と言っても本当に色々
あるんだなって思いました。



続きはコチラ
スクエア
マガジンで

編集 後記

今回の特集は「モヤモヤ」。以前から企画に挙がっていたテーマですが、やっ
との思いで日の目を見ることができました。

掲載されているモヤモヤはごく一部のもの。ですが、もしいずれのモヤモヤにも
共感できないのであれば、その分野に関する圧倒的強者である可能性は捨て
られないと思います。みなさんが抱えているモヤモヤは見つかったでしょうか。

編集 / 大森 亮平

GOCHAMAZE times 2021 春号

発行日 | 2021年3月5日

発行人 | 北山 剛

編集 | 小松 理度 (ヘキレキ舎)、渡辺 香

デザイン | 江藤 菜穂子

撮影 | 今泉 俊昭、奥田 峻史

企画 | 奥田 峻史、大森 亮平

広報 PR | 藤本泰寛

発行 | 特定非営利活動法人

ソーシャルデザインワークス

印刷 | 株式会社東海共同印刷